

ローマ 12

v.1 旧約聖書の時代の十分の一献金：

参照聖句 マラキ 3:10/創世記 14:20/民数記 18:26 /申命記 14:24/2 歴代誌 31:5

新約の時代は「自分を生きた捧げものとして捧げる。」⇒24時間 365日クリスチャンであれ。

ルカ 11:42 「ただし十分の一もおぎなりにしてはいけません。」ともキリストも言っている。

V2. 心の一新によって⇒新しい命としてのふさわしい生活：参照聖句ローマ 6:3-5

V3.-8 「教会」

4つの質問で掘り下げてみる。

1. 教会とは何か？
2. なぜ教会があるのか？
3. 教会はどうあるべきか？
4. 教会の目指すもの（ゴール）は？

1. 教会とは何か？ ⇒エペソ 1:22-23 頭はキリスト。キリストの体。/エペソ 2:21-22 コミュニティ

マタイ 16:15-18 ペテロの「グレート・コンフェッション：素晴らしい信仰告白」「あなたは、生ける神の御子キリストです。」⇒イエスを救い主であり、今も生きている神そのものであると告白する信仰の上に立ち上がるコミュニティ。

宗教法人登録、教団所属しているからではない。建物ではない。「教会」との看板があり、十字架があるからではない。牧師、神父がいるからではない。十字架がご神体ではない。敷地内にホーリーなパワーが満ち溢れるパワースポットでもない。

2. なぜ教会があるのか？

エペソ 1:9-10,3:6 新しい契約に生きる今の時代になされる神の計画。（創世の前より定まっている：神の奥義）この世にキリストの体を立ち上げる。

3. 教会はどうあるべきか？

1コリント 12-31

キリストの体として一人一人が各器官として役割を持つ。

<特徴1>一つ一つが別々である⇒各個性の多様性が良い

もし、教会に集まる人たちが同じようになってきたら、教会の危機⇒水木しげるの妖怪のような体になってきている。

<特徴2>ヒエラルキー(上下関係)がない。スポンサー、社長、アルバイト etc..が等しく同じ。

ローマ 12:2「この世と調子を合わせてはいけません」⇒この世の常識からみると違和感のあるスタンダード

4. 教会の目指すもの（ゴール）は？

エペソ 4:13,15 キリストそのものになる。信仰の一致。知識の一致。キリストのように父なる神を信頼し、キリストのように考え、想い、行動し、神の栄光を現わす。（伝道、主の栄光、癒し、すべて含まれる。）

<まとめ>

教会とはイエスをかしらとし、イエスを救い主と告白する人たちのコミュニティであり、イエスの体。

教会が立ち上がるのは創世の前からの神の計画の一環であり、そのコミュニティは、多様な個性が必要で、ヒエラルキーがなく、教会の向かうゴールは、イエスと同じものとなり、この世で、イエスと同じように感じ、想い、ふるまい、行動できるものとなること。